日本木材学会

シックハウスで講演会

室内空気汚染に注意

日本木材学会九州支部は18日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で「シックハウス最前線－住まいの健康と安全を求めて－」と題して講演会を開き、施工者や設計者ら約120人が参加し、シックハウス問題に対処するため最近の動きや研究動向、新しい住宅設計法などについて学んだ。

講演会では、静岡大学農学部森林資源科学科の吉田弥明教授が「シックハウスをとりまく現状について－木質系住宅は果たして安全か－」、北里研究所病院臨床環境医学センターの宮田幹夫客員部長が「シックハウスが及ぼす人体への影響について」、鹿児島大学工学部建築学科の岩下剛助教授が「シックハウス・環境共生住宅－快適空間への建築的対策－」と題してそれぞれ講演。

この中で、宮田部長はシックハウスから発生する健康障害やシックハウス症候群の原因物質、対策等について解説、高気密住宅の開発と、新建材の普及は室内空気の汚染、シックハウス症候群を引き起こすため発症前の注意と、室内空気の汚染には十分注意し、建築専門家と相談して建築に配慮する必要があると説明した。

また、岩下助教授は実際の居住空間でVOC濃度、ホルムアルデヒド濃度などを測定した結果を踏まえ、一定量の換気量が確保されれば、セスキテルペンとオゾンとの化学反応が生じたとしても、それによって生成されるホルムアルデヒドの問題は大きくないと考えられるなどの知見が得られたことを説明した。

テキストを手に熱心に聴講する参加者
＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

新幹線開業機に

"OKチャリ"開始

電動自動車レンタル

鹿児島市ホテル旅館組合

「OKチャリ」でそのままホテルへチェックイン、チェックアウトも－。OKチャリチャレンジ委員会（仮称）・鹿児島市ホテル旅館組合は、JRが行っている電動自転車レンタル事業「楽チャリ」に、新しく、宿泊施設に自転車の乗り捨て料を支払い返却の手間を省いた「OKチャリ」システムを導入。新幹線開業を機に、鹿児島へ訪れる観光客に「また、鹿児島へ行ってみたい」と思ってもらえるような事業を開始した。

「楽チャリ」はJRの電動自転車レンタルシステムで、九州ではすでに11市町村で行われている。しかし、同システムはこれまで電動自転車を駅で借りたら、また駅に返却しなくてはならない面倒さがあった。

そこで新システムの「OKチャリ」は、駅でレンタルし鹿児島市内を観光した後、宿泊施設へ乗り捨て料（300円・税込）を支払えば、宿泊施設が鹿児島中央駅に返しに行くという事業で、返却への面倒さを解消している。

また、JR九州鹿児島支社は地元の土産店6社、飲食店22社とコラボレーションし、お得な特典付き「楽チャリマップ」を5000部作成。同マップをコラボ店に提示すれば、その店で特典が受けられるシステムになっている。なお同マップは鹿児島中央駅総合案内所などに置かれている。

コラボレーション店は次の通り。

明石屋▽薩摩蒸気屋▽フェスティバロ▽扇屋▽敏太郎▽揚立屋▽とと家▽勇気▽吾愛人▽無邪気▽熊襲亭▽SAO▽カフェ e TABLE▽ZAPPA▽一保▽黒福多▽焼酎天国▽つるや▽万十屋▽MIDGET▽SUR BAR▽八代目▽じゅん坊▽さつま路▽華蓮▽華蓮Jr▽潮香亭

問い合わせは、JR九州鹿児島支社総務企画課営業担当・堀氏（☎090・9578・4619）、鹿児島市ホテル旅館組合広報窓口・橋本氏（☎090・4983・2424）まで。

植えた花に水をかける児童＝頴娃町の現場で

緑の少年団と県道植栽

花の大切さに理解を

指宿土木

県指宿土木事務所は17日、頴娃町立青戸小学校の児童らで結成する「緑の少年団」の約20人と、同校職員と同事務所職員、建設業者ら総勢約40人で、県道頴娃川辺線の植栽帯に花の苗木約1200本の植え付けを行った。

今回の植栽は、家庭・学校・地域・職場が一体となり、県が進める「21世紀新かごしま総合計画」の施策に付随する「心豊かな青少年を育てる運動」を推進するための、青少年健全育成活動の一環として取り組んでいるもの。指宿土木事務所は、今回の活動を通じて児童たちに花の成長と生命の尊さを理解してもらうことを目的に行った。

冒頭、㈲指宿造園の花園秀治氏が、児童たちに苗木の植え付け方法について丁寧に説明。次いで、指宿土木事務所職員、建設業者（㈲指宿造園、東建設㈱）、加えて青戸小の児童で結成される「青戸緑の少年団」と同校職員とともに、正門前を走る県道頴娃川辺線の旧道敷を利用して設置された植栽帯と花壇に、サルビア・ベゴニアなど8種類の花の苗木を植え付けた。作業終了後には、一人ひとりに花の苗木がプレゼントされ、児童らの顔には満面の笑みがあふれていた。

新谷緑化の社員と寄贈された同校の児童ら
＝鹿児島市の同小学校で

新谷緑化

松原小にフラワーポット寄贈

花のようにと成長願い

新谷緑化㈱（新谷哲生社長、本社・鹿児島市）は18日、鹿児島市松原町の松原小学校にフラワーポット100基を寄贈した。

今回寄贈されたフラワーポットは、国道225号（鹿児島市南林寺町）の共同電線溝植栽工事区間（松原小～城南小）に設置されていたもので、24日に行われる同校の卒業式に合わせ、工期終了前に寄贈された。フラワーポット（20㎝×60㎝）は、姫金魚草、ポピー、パンジーなど色とりどりの花々が植えられ、「花を大切にそだてましょう」、「整理整頓」などの標語が側面に記入されている。

新谷社長は、今回の寄贈について「工事期間中は地域の皆様にご迷惑をお掛けしました。ご協力、ご理解いただき竣工の運びとなり感謝します。児童の皆さんが、花のようにすくすく成長されることを願って無料配布しました」と話した。同校の船隈康洋校長は「本校は自然や緑が少ない地域なので、寄贈された花々は児童の情操的な心を育てるよい機会です。また同校では児童に土づくりから指導をしています。これを機に草花などへの愛着心やボランティアの心を育ててほしい」と語った。

甲突河川畔での花見

24日からルール適用

鹿児島市公園緑化課

鹿児島市公園緑化課は、甲突川河畔における「桜の花見のルール」について24日から適用することにしている。

時期及び場所等は次の通り。

【時期】
3月24日から（終了時期は桜の花見の状況に応じて判断）

【場所】
甲突川左岸及び右岸緑地

【ルール】
①花見の禁止場所＝通路、仮設道路、遊具広場、病院の前など禁止区域（禁止区域については看板で表示）
②場所取り＝場所取りは当日に行うこと。午前中は清掃のため中止。シート使用のこと（ロープやビニールひも、鉄筋の棒などは禁止）。シートに氏名、使用開始時間、連絡先など書いた紙を張ること（ルール違反の場合は撤去することがあります）
③制限時間＝午後10時以降の花見は禁止。午後10時以降になると一部の照明を除き消灯
④ごみ＝ごみは原則として持ち帰ること
⑤炭火の使用＝火災防止には十分注意。バーベキューなどの器具は公園施設や樹木への影響の少ない器具を使用。消火用コンテナ設置場所以外での消化は禁止。消し炭は必ず持ち帰ること
⑥車の駐車について＝公園には駐車場はありません。公園の周りは駐車禁止
⑦騒音について＝カラオケなどの音量はひかえてください。発電機等の使用は禁止

【その他】
市職員、警備員などによる巡回指導とルールチラシの配布を行う

長渕剛詩画展

23日から鹿児島市で

九州新幹線開業記念イベント実行委員会は23日午前9時45分から、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で「長渕剛詩画展 情熱」のオープニングセレモニーを開く。展示は23日から4月11日までの17日間。

九電「あかり会」

25日に寄付

九州電力㈱鹿児島営業所婦人電気教室「あかり会」は25日午後2時から、鹿児島市のかごしま市民福祉プラザで、同市社会福祉協議会へ手作りぞうきん400枚を寄付する。